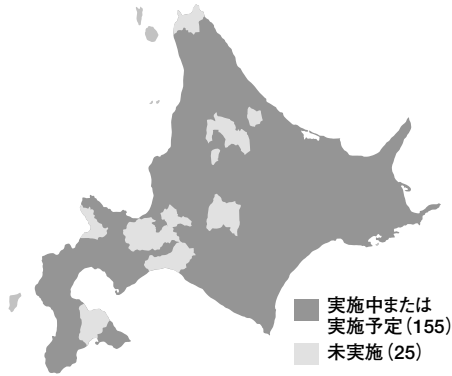


他市町村の有料化の状況

実施状況は？

道内180市町村のうち、155市町村(約86%)が、有料化を実施中または19年度実施予定です。



手数料は？

実施市町村では、数種類の大きさの指定ごみ袋を用意し、手数料を含めた価格で販売しています。

■近隣市の手数料の例

	燃やせるごみ	燃やせないごみ	容器包装プラスチック	びん・缶・ペットボトル
石狩市	1リットル2円		—	無料
小樽市	1リットル2円			無料
江別市	1リットル2円		白色トレイ無料	無料
室蘭市	1リットル2円		1リットル2円	無料

他市で使われている20リットル(40円)のごみ袋



効果は？

有料化を実施している人口10万人以上の全国の都市を対象にした本市の独自調査によると、ほぼすべての都市でごみ減量の効果がみられます。



計画案について
ご意見をお寄せください

計画案の配布場所 市役所12階環境事業部計画課、区役所、まちづくりセンターなど。

提出方法 計画案をご覧の上、意見用紙を来年1月21日(月)(必着)までに、持参、送付、ファクス、Eメールで提出。

▶ 事業ごみを減らします

資源化できる紙ごみなどの清掃工場への搬入を制限し、不適正な搬入を防ぐため、監視員として「ごみGメン」を配置します。また、「事業ごみ指導員」が事業所への立ち入り指導などを行います。



▶ ごみの発生を防ぎます

レジ袋削減や簡易包装、ごみ減量などに積極的に取り組む店舗を認定・表彰します。

▶ 家庭ごみ

家庭から出るごめる、紙ごみ(約)の減量を進めま

雑がみの
分別収集

生ごみ・草木類
の減量・資源化

▶ 家庭ごみの有料化を提案します

有料化の目的

ごみ減量・リサイクルを一層進めることが目的です。ごみの量に応じて処理手数料を負担する仕組みをつくることで、分別の徹底やリサイクルに対する意識が高まり、さらなるごみの減量が期待できます。また、ごみ減量に取り組んでいる人とそうでない人の費用負担の公平性が確保されます。

燃やせるごみ・燃やせないごみ → 有料

資源物 → 無料または低料金

手数料の考え方

- 1.ごみを減量する意識が働くように設定
- 2.負担が大きくなるように配慮
- 3.近隣市の設定例を考慮

手数料の使い道

ごみ減量・リサイクルの促進や環境教育と普及啓発の充実、地域の環境活動への支援、地球温暖化防止に向けた取り組みなどに使います。

減免制度

新生児や高齢の方・障がいのある方が使用する紙おむつ、道路や公園などの清掃で出るごみについては手数料の減免を検討します。

実施する場合は、条例の議決を経た上で、十分な周知期間を設けます。